

函館市学校給食基本方針(案)に対するパブリックコメント手続の実施結果について

案件名	「函館市学校給食基本方針」(案)
募集期間	平成25年11月8日(金)～11月25日(月)
担当課	教育委員会 学校教育部 保健給食課
意見提出者数	個人 1人(5件), 団体 6団体(10件)

●函館市学校給食基本方針(案)に対する意見

No.	意見の概要	市の考え方
	4 具体的な推進方法 (1) 安全安心の確保	
1	これからも「安全・安心」な給食をお願いいたします。	①安全・安心な調理環境の実現 ②安全・安心な食材の使用 といった取り組みを進め、安全・安心な給食を提供して参りたいと考えております。
2	調理員の手洗いうがいは勿論のこと、衛生管理従事者への教育と、給食の運搬・配膳に至るまで一層の配慮が必要である。	①安全・安心な調理環境の実現において、調理従事者への研修の充実および委託業者に対する衛生管理のモニタリングの実施に取り組む予定であり、より一層の衛生管理の徹底に努めて参りたいと考えております。
3	少子化に伴う学校の統廃合などにより、給食供給の状況もより変わってくるかと思われます。安全の観点からいえば、輸送や運搬距離が増えれば、その危険度は増加するするものと思う。また、調理材料、調理器具、調理環境は清潔、安全が当たり前。事故発生の原因においては点検の怠りや、曖昧、安易で勝手な判断による人為的なミスによるものが多い。マニュアルや環境の整備を再確認し、二重三重のチェック体制ができる環境が望ましい。	①安全・安心な調理環境の実現を図る取り組みを進めるうえでの貴重なご意見として、参考とさせていただきます。
4	食物アレルギーを持つ児童生徒数が増加していることから、細心の注意を払っていただきたい。	②安全・安心な食材の使用において、食物アレルギー対策マニュアルの策定に取り組む予定であり、今後マニュアルに沿った安全・安心な給食を提供して参りたいと考えております。

No.	意見の概要	市の考え方
	4 具体的な推進方法 (2) おいしい給食の推進	
5	<p>基本方針の中に「おいしい給食」とあるが、住んでいる地域の学校給食は、給食センターが新しくできてからおいしくなくなった。立派なセンターで安全・安心が徹底されていることはわかるが、センターができる前の給食を食べていた子どもは、残して家に帰り、カップラーメンを食べている。地域の食材を使い、食文化の理解といっても、おいしくなくて食べないでは何の意味もないと思う。</p>	<p>①「おいしい給食」づくりの取り組みを進めるうえでの貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
6	<p>児童の健康増進を図るため、地域の農水産物の生産者や加工業者との連携を今まで以上に進めていただきたい。</p>	<p>②地場産物の活用促進を図る具体的な取り組みの中で、農協、漁協、市場関係者、加工業者など、様々な関係者と連携しながら進めて参りたいと考えております。</p>
7	<p>食品の安全性、食物アレルギーへの対応等、難しい問題の多い時代だが、今後とも子どもたちの成長のため、多種多様な献立や地場産食材の使用等、豊かな給食事業であり続けることを期待します。</p>	
8	<p>温かくおいしい給食の提供、地場産物や旬の食材の使用、献立の内容充実など、より力を入れることが「食育」であり、家庭との連携にも繋がる。</p>	<p>②地場産物の活用促進を図り、家庭や地域との連携を進めていくうえでの貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
9	<p>家庭での調理食材は、大型スーパーでの購入が大半を占め、函館や地場産の食材を目にすることは稀になった。加工食品、インスタント食品が当たり前に食生活の中に入り込み、食品添加物などにも慣れ体質変化した子どもたち。アレルギーや偏食、様々な社会問題の大きな要因となっている中、安全且つ「おいしい給食」づくりの取り組みは、函館・地場産食材の活用促進とともに、各家庭との連携や地域の協力が必要ではないか。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方
4 具体的な推進方法 (3) 学校給食を活用した食育の推進		
1 0	<p>子どもに限らず、好き嫌いは当然あるかと思うが、子どもたちに栄養の大切さをについて学ばせるのは給食だけでは難しいのではないか。</p> <p>学校でも食育について学習していることと思うが、給食や食べ物の大切さについて特別な授業が必要なのではないか。</p>	<p>①栄養教諭を中心とした学校教育全体での食育の推進</p> <p>の取り組みを進めるうえでの貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
1 1	<p>給食は、子どもたちにとって学びの場の一つだと思う。教科書等による話だけではなく、食材についての学習や生産者との触れあいなども行うことができれば、今まで以上に食に関する興味・関心が高まるように思う。</p>	
1 2	<p>学校や家庭、地域と連携した施策に努め、朝食の摂取率の悪さを改善すべきだと思う。</p>	<p>現状と課題の中でも記載しておりますが、朝食の摂取率は、全国平均と比べても低く、今後、</p> <p>①栄養教諭を中心とした学校教育全体での食育の推進</p> <p>②家庭、地域と連携した食育推進の取り組みを進めることにより、改善を図って参りたいと考えております。</p>
1 3	<p>現代での一般的な生活水準からいえば、本来は家庭が、親がしっかりとその役割を果たすべきであるかとも思う。家庭での偏食による小児成人病や、生活時間の乱れによる食欲不振や体調不良、食物アレルギーなどが日常的に取り沙汰される今日、基本方針にあるような施策を各家庭にもっと浸透させるべく策を講じなければならないのではないか。</p>	<p>②家庭、地域と連携した食育推進の取り組みを進め、その実現に向け努めて参りたいと考えております。</p>
1 4	<p>家庭、学校、地域、社会が一体となり、子どもたちを育む活動の一つとして「函館市学校給食基本方針」を進めてほしい。</p>	

●その他意見

No.	意見の概要	市の考え方
	栄養教諭・栄養士の配置	
15	各学校に1名の栄養教諭を配置（配置できない場合は、民間の栄養士を配置）させ、今まで以上に栄養に関して配慮するよう徹底してほしい。	貴重なご意見として、参考とさせていただきます。

意見等を考慮した結果の修正案	意見による修正はありません。
結果の配布場所	教育委員会 学校教育部 保健給食課
お問い合わせ先	教育委員会 学校教育部 保健給食課 TEL 0138-21-3546 Fax 0138-26-7901